

町制施行50周年記念 歴史民俗資料館春季企画展 「ちょっと昔のみよし」

昭和33年(1958年)に誕生した三好町は、今年で町制施行50周年を迎えました。また三好町の前身である三好村が、三好村・明越村・筋生村の3村合併で誕生したのは、今から102年前のこと。その間に、さまざまな出来事があり人々の生活も大きく様変わりしました。今回の展示会では、昔の写真や資料、懐かしい道具などの紹介を通して、三好の100年の歩みを振り返ります。



▲明治35年製造の壁掛け式電話機。三好に電話が開通したのは大正11年5月21日のこと。

▼昭和30年～50年代に家庭で使われていた懐かしい電化製品や道具。

▶とき＝6月22日(日)まで(月曜日は休館日)

▶開館時間＝午前9時から午後4時30分まで

▶ところ＝歴史民俗資料館

▶入場料＝無料

▶問い合わせ＝資料館 ☎(34)5000 ㊟(34)5150



資料館では、記念事業の一つとして、企画展を開いてるそうよ。見に行きましょうか。

今年、三好町は町制施行50周年なんだって。

▼明治・昭和時代に掲載された新聞や雑誌。



▲昭和53年に町制20周年を記念して作られた、三好音頭が染め抜かれたのれん

▼昭和43年に初めて発表された三好音頭。これは昭和53年に造られたレコードで、左側はジャケット、右側が歌詞カード



三好に縁のある物や時代ごとの品があって、昔の出来事を知ることができるわよ。

▼明治43年11月に当時の皇太子(後の大正天皇)が三好に来られ、三好第一尋常高等小学校(現在の中部小学校)に宿泊。大慈山で臨時対抗演習を観覧された。火鉢は宿泊した際に皇太子が使用されたもの



▶戦時中の書類や身に着けた防災頭巾、国民服など(昭和10年代)



今までに集められた貴重な資料や写真、懐かしい物がたくさん展示されてるのよね。

資料館に着いたぞ。

▶領収書などを入れていた納税袋(年代は不明)。村民税のほか自転車や荷車、犬税などの納期が書かれている

▼三好町役場の門についていた表札(昭和中期)



▶町消防団で使われていた刺し子。表側には第8分団(現在の筋生分団)の表記がある



▲昭和20年代に撮られた町北部周辺の航空写真



◀明治時代と大正時代から昭和時代初期にかけての住宅地図。1軒ごとに名前も書かれている

▶大正時代から昭和初期にかけて、この地域の主な交通手段として発達したバス。これは名鉄バスの切符売り場の看板



▶昭和51年ごろの広告。掲載されている写真や商品、値段などから時代が感じられる



ずいぶん昔の地図なんかも残ってるんだ。

▼大正時代から昭和時代初期にかけての、三好の各所の風景を映した絵はがきや写真



▲尾三バスの時刻表(昭和10年)。尾三バスは、愛知県下最大級の全国有数のバス会社。交通の不便な地域をカバーするネットワークを築き、後に名古屋鉄道と合併した



昔に見たことのある物や初めて見る物もたくさんあったわね。



資料館にはこれ以外にも、たくさんものがあるよ。

▼江戸時代後期から昭和時代末期までのお金の数々

